



# 憲法9条は人類の最先端

—世界中から飢えと戦争をなくそう—



## 5・3 憲法集会に4千5百人

た。俳優の市原悦子さんは、空襲で犠牲になった少女を描いた『ちいちゃんのかげおくり』（あまんきみこ作）を情感豊に朗読。「戦争によって幼い命が奪われたことを忘れないで、世界中から飢えと戦争がなくなるように願っています」と話しました。

憲法施行から63年を迎えた5月3日、日比谷公会堂で「5・3 憲法集会」が開かれ、会場内外に約4500人が集まりました。粕江からも「こまえ九条の会」「平和憲法を広める粕江連絡会」「東京土建粕江支部」の人たちなど30名余の市民が参加しました。

法政大学教授  
田中優子さん

あいさつした「許すな！憲法改悪・市民連絡会」の高田健さんは、沖縄の普天間基地の撤去にふれ「米軍基地のたらい回しや軍事基地の押しつけは憲法違反の最たるものだ」と語りました。法政大学教授の田中優子さんは、沖縄県民への連帯の気持ちを込めた黄色い着物姿でスピーチ。「憲法を生かすために必要なのは、沖縄から米軍基地を完全に撤退させること、東アジア共同体をつくることです」と強調しました。

伊藤塾塾長・弁護士  
伊藤 真さん

俳優  
市原 悦子さん

伊藤塾塾長・弁護士の伊藤真さんは、「在日米軍による事件・事故で千人を超える日本人が亡くなった。米軍基地があるからイラク、アフガンの戦争に加担している」と告発。「憲法九条は人類の最先端。壁を乗り越えて、より自由で平和な社会に進んでいこう」と語りまし

社民党の福島瑞穂党首は、キャンプ・シュワブ沖合にくい打ち桧橋方式で代替施設を建設する案については、「埋め立て案も桧橋案も環境破壊であり、沖縄県民への負担軽減にならない」と述べました。日本共産党の市田忠義書記局長は「日本国憲法とは相いれない存在である米軍基地問題について考えたい」と述べ、「普天間基地の際限のない移設探しではなく、アメリカに持って帰ってもらおう」とよびかけました。

集会後、参加者は9の字をあしらったうちわや横断幕を手に入座をパレードしました。沿道からは、パレードの写真を撮る人や手を振る人、拍手する人もいました。